

問 救急車の入れない生活道の把握は
答 事業を導入し対応

大崎

救急車の高規格化で、玄関先まで入れないのは命にかかわる。生活道の実態の把握と改善についての取り組みは。

高橋西庁産業建設課長

津野町のような急峻な地形等で、全ての住居まで町道を整備するのは膨大な予算が必要。2・3戸以上ある所については事業を導入し、延伸あるいは支線を作って対応している。

救急車等が進入しにくい場所については消防署と実態調査をし、用地協力の承諾を得られた所から順次改良。25か所のうち12か所を既に工事済み。



緊急車両も通行しやすく改良された町道

問 マイナンバーカードのメリットは
答 身分証明になる

大崎

町内のマイナンバーカードの交付の現状と、津野町でマイナンバーカードを作ったのメリットはあるか。

黒川住民福祉課長

マイナンバーを割り振られた通知カードと、顔写真付き身分証明機能が備わった個人番号カードの2種類がある。昨年10月にマイナンバー法が施行され、町内2千704世帯に転送不要の簡易書留郵便で届けられている。2月末現在で町が保管している通知カード入り封筒は39通で、受け取り拒否が9通、転出等が3通、亡くなっている方が11通、残り16通の対応が残っている。保存期間が3か月と定められており、電話・訪問等で個人別対応をしている。

マイナンバーカードを作る作らないは個人の自由で、メリットは身分証明書になる。コンビニ等での各種証明書の取得等は十分精査していくが、住民票等の交付対応は考えていない。



カード見本